



2020年7月29日【第1179回】



クラブ会長ターゲット

「会員増強なくしてクラブ繁栄なし」
"If members don't increase,
club won't prosper."

2020-2021年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐久間 裕章



国際ロータリーテーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」
"Rotary Opens
Opportunities"

2020-2021年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

創 立 : 1994年8月8日
会 長 : 佐久間 裕 章
副 会 長 : 佐藤 大 輔
幹 事 : 坂本 康 朋
プログラム長 : 篠塚 慎之介
(会報担当)

7月29日の卓話

7月22日の出席率

8月5日の卓話

「五大奉仕委員長就任挨拶」
クラブ奉仕委員長 佐藤 大輔様
職業奉仕委員長 酒井 教吉様
社会奉仕委員長 村社研太郎様
国際奉仕委員長 小松 啓祐様
青少年奉仕委員長 井上 晴貴様

会員在籍者数 43名
会員出席者数 31名
会員欠席者数 12名
本日の出席率 73.81%

東京臨海 RC 創立 27 周年記念例会

「ロータリーの歴史と基本その1」
元ガバナー補佐・当クラブ元会長
齊藤 実様

《東京臨海RC・東京臨海東RC 合同例会》

野生司義光ガバナー公式訪問

2020年7月22日(水)

東京臨海RC第1178回例会

東京臨海東RC第1108回例会

司会：勝間田SAA委員長

- ・地区幹事 谷一文字様
- ・分区幹事 追分義郎様
- ビジター紹介：井上会員
矢橋潤一郎様（札幌東RC）
高吉泰尋様（伊藤会員ゲスト）
金城健二様（入会決定者）
米衛純二様（入会決定者）

■来賓挨拶



- ・ガバナー 野生司義光様
皆さんこんにちは。本年度ガバナーを拝命致しました、東京小石川ロータリークラブ所属の野生司義光と申します。先週からガバナー公式訪問を始めまして、先週、平日5日間のうち4日間、今週、月、火、水曜日と公式訪問しております。昨日も2クラブ合同の公式訪問いたしました。今日こんな広い環境になるのは初めてなんです、この後、卓話を致しますので聞いてください。よろしくお祈りします。

- ・ガバナー補佐 海老沼孝二様
皆さんこんにちは。今日こんな素晴らしい設営をしていただきましてありがとうございます。先程も臨海クラブ協議会で皆さんのエネルギーを感じまして、とっても嬉しく思いましたし、こちらが終わってからの臨海東クラブの協議会もとっても楽しみにして



■点鐘：東京臨海RC 佐久間裕章会長
東京臨海東RC 石井敏子会長
(東京臨海RC 佐久間裕章会長)

皆さんこんにちは。本日はお足元の悪い中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また先程は、クラブ協議会にご参加いただきましたガバナーはじめ、皆様ありがとうございます。すごく有意義な時間を過ごせて、私も大変嬉しく思っております。また、先週も言わせていただきましたが、立派なロータリアンに今日を皮切りになれたらいいなと思いますので、どうぞ皆様よろしくお祈りいたします。

■本日は、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、「ロータリーソング」・「四つのテスト」・「ロータリーの目的」の唱和は行いません。

■来賓・ゲストスピーカー紹介：佐久間裕章会長

- ・ガバナー 野生司義光様
- ・ガバナー補佐 海老沼孝二様

おります。これから1年間どうぞよろしくお願いいたします。

■会長報告：東京臨海RC佐久間裕章会長



- ・鈴木孝行会員が17回目の紺綬褒章を受章されましたので、クラブよりお祝金を贈呈いたします。
- ・鈴木孝行会員より、クラブ基金に多額の寄付を頂きました。

■直前会長報告：東京臨海東RC池田直前会長



- ・東京臨海東RCクラブ基金功労者感謝状を東京臨海RC会員 鈴木孝行様へ贈呈致します。



■幹事報告：坂本康朋幹事

- ・例会後、野生司ガバナーを囲んで集合写真を撮影致しますので、全員3階の写真室に移動をお願いします。

■委員会報告

本日、委員会報告はございません。

■出席状況報告：内海会員

⇒詳細1頁バナー下に掲載。

■ニコニコBOX報告：杉浦会員

(ご意向)野生司ガバナー、海老沼ガバナー補佐、谷一地区幹事、追分分区幹事、本日はご訪問有難うございます。宜しくお願い致します。：佐久間裕章会長、佐藤大輔副会長、坂本康朋幹事、酒井会員、村社会員、柴田会員、須藤会員、小松会員、篠塚会員、舂本会員、入澤会員、白幡会員、佐久間栄一会員、内海会員、井上会員、太田会員、本多会員、山田会員、田村会員、高橋会員、櫻田会員、勝間田会員、尾身会員

(ご意向)野生司ガバナー始め御来賓の皆様、早朝よりご苦勞様です。又、遠方からお越しの札幌東RC矢橋さん、ようこそいらっしゃいました。：斉藤実会員

(ご意向)先日はご多忙の中、旧三役お疲れ様会を開催頂きありがとうございました。とても嬉しく感激しました。斉藤さん、鈴木さん、素敵なプレゼント有難うございました。：前三役一同(佐藤正樹会員、高橋会員、杉浦会員)

(ご意向)妻と結婚13年の記念日でした。感謝を込めて食事に行ってきます。：伊藤会員

【24件 60,000円 今年度累計 305,000円】

■卓話

「ガバナー講評」

国際ロータリー第2580地区ガバナー
野生司義光様



皆さんこんにちは。最初に私の簡単な自己紹介をさせていただきます。1991年東京小石川ロータリークラブに入会致しました。私の父は東京小石川ロータリークラブのチャーターメンバーでございました。東京小石川ロータリークラブというのは東京北ロータリークラブから5人の仲間が出まして、新しく東京小石川ロータリークラブを作りました。初代の会長は講談社の野間さんでございまして。私の父が初代幹事を務めました。私の妻は東京北ロータリークラブの出身でございまして。私の家内の父親も東京北ロータリークラブに所属しておりましたので、そういう意味でもロータリー一家の家族でございまして。私の職業は建築家です。建築家とは建物の設計・管理をしてクライアントの立場で設計をする人間のことをいいます。クライアントを守るという意味では弁護士と同じような仕事だというふうに思っております。こちらでも斉藤さんがいらっしゃいますので同業の人間でございまして。私が設計したものを2、3紹介させていただきます。写真の通り、銀座久兵衛本店、浅間山の家、東邦音楽大学グラントザール、青葉ヒルズ(特別養護老人ホーム)です。今年の1月の19から25日まで、サンディエゴで国際協議会が行われました。世界には525の地区がありますけれども、ガバナーエレクト、パートナー合わせて1500人ぐらいが集まりました。この写真はその会場にあり

ましたマンチェスターグランドハイアットホテルでございます。残念ながら、来年度は場所がサンディエゴからフロリダに移りますが、もしかしたらコロナでズームでの協議会になるかもしれません。1週間、各国のチームが何かイベントをする、催し物します。日本人は開催予定だった東京オリンピックのオリンピック音頭 2020 というのを皆で稽古をしまして披露することにしました。稽古すると言っても北海道から九州まで、バラバラですので一同に集まってやれませんでしたので、当日ちょっとホールで練習したわけなんですけども、揃うかどうか非常に心配でしたが結構上手に揃いました。例年ですとブラジルのサンバが1番艶やかなんですが、今年は日本のオリンピック音頭が良かったと言う評判をいただきました。ホルダー・クラーク会長は今年のテーマとして「ロータリーは機会の扉を開く」と言っております。ところで皆さん、RIのビジョン声明をご存知でしょうか。2017年に採択された、このビジョンの下に、2019年から5年間行動することが決議されております。ロータリーは115年の歴史がございます。そして現在は200以上の国で120万人のロータリアンがおります、それぐらい大規模な組織でございます。生まれた場所や話す言葉が違って私たちは、この基本理念の下に結ばれています。そして世界中のロータリアンの意見をもって作られています。私たちは世界の中で日本のロータリアンとしてそれを実現すべく行動しようと思っております。私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的な関わりを促す」、「適応力を高める」、この4つの行動計画が2019年から5年間のテーマになっております。2020年今年の年次目標であります。1. ポリオを根絶しロータリーの役割を強調する。ポリオは今パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアに少し残っております。これを根絶しないと無くなったと言えません、少しでも残しておくと、またそこから広がっていきます。そのためにローラー作戦でポリオ根絶しようとしております。各家一軒一軒回ってワクチンを打たせるという形をしています。2. 2025年度までに恒久基金を20億2500万ドル(約222億円)、年次基金とポリオプラスへの寄付を増やすことが求められております。3. 地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センターにインパクトを与える4. 人道的なプロジェクトの世界的な実績を向上させるため、政府機関等の機会も含め、新たなパートナーシップを築く。政府とか行政と一緒にプロジェクトを進めましょうと言われてます。5. 新クラブと革新的なクラブ(Eクラブ、パスポートクラブ等)とありますけども、そういうところと既存のクラブにおける新会員の入会を促進させることにより、参加者の増加と多様化を図る。多様化とは女性会員を入れるとかそういうことを指しています。6. ロータリーに入会

する女性会員、40歳未満の会員、ロータリーアクトの数を増やす、臨海さんもぜひ女性会員を入れてもらえたらと思います。7. 世界を変える行動人としてのロータリーとロータリアンの認知を高める。8. インターアクト、ローターアクト、ロータリークラブの会員、その他ロータリーの参加者に積極的に交わる。インターアクト、ローターアクト、ロータリーと一緒にいろいろな行動をしましょうということをお話しております。9. 全ての参加者、特にロータリークラブとロータリークラブの間の協力を増やしてもらう。臨海ロータリークラブさんは、勢いがありますのでぜひローターアクトクラブを作っていただけたらと思います。若い会員さんも多いので学生を中心にローターアクト作っていただけたらと思います。10. 人道的プロジェクトの世界的な実績を向上させるため、新たなパートナーシップ(政府、行政等)を築いてください。11. ロータリーのリーダーシップ(ガバナー補佐、地区研修リーダー、地区委員)に明確な責務を与える。これは私に言われている言葉かもしれません。12. ロータリープログラムの活動に焦点を定めつつ、コロナ禍において活動をバーチャルで行うか、あらゆる健康上の懸念を考慮しながら活動をしてください。これら12の年次目標をできるだけ多く取り入れて今年、活動していただければ光栄と思っております。「ロータリーは機会の扉を開く」これが今年のホルダー・クラーク会長のテーマでございます。次に地区の年次目標です。「ロータリーを楽しんで仲間を増やす」。その実現のためにはまず退会防止、これは急遽入れたんですけども実は昨年6月にガバナー補佐会議を開きまして、海老沼さんから会員増強の前に先ず、このコロナ禍の中で退会防止をキチッと謳うべきだ、という指摘をいただきました。退会防止のテーマを入れさせ頂きました。6月が終わって7月になったわけなんですけども、実際6月にどのぐらいの会員が退会したかといいますと最終統計は120人位、120人の方が2580地区から辞められた、必ずしもコロナのせいでそうなったわけでもないでしょうけども120人という数は例年に比べると、どうかといいますと例年とそれほど変わらないです。そういう意味では、ほっとしております。少なくとも地区の予算は3000人で立てておりますので、そこまでは対応しなければなりません。ぜひ会員増強をお願いしたいといふふうに思っております。退会防止のために、どういうことができるかという非常に仕事がなく先ほども地区協議会で漢方医の方がコロナ禍で仕事がないとおっしゃっていましたが、その方に何か仕事を見つけてくださいと言いました。それからRI会長が言っているのは年会費をなるべく安くしようよと、おっしゃってます。ただ実際には限度がありますけども、そういう意味ではミニクラブみたいな安い年会費で運営できますので、ミニクラブを作るのも提唱されてます。例えば分区単位にEクラブがあると、ロータリーを続けたいんだけど、なかなか続けられないという方はEクラブに入ってもらおう、という手もあるのではな

いかなというふうに思っております。あとモーニングクラブを作るとか、ティータイムクラブを作るとか、そういう方法もあろうかと思えます。それから人数を増やすという意味ではロータリーからロータリークラブへ昇格する、これが世界で非常に求められています。日本では、なかなか無いんですが世界中ではロータリーからロータリークラブになっていくクラブことになってる、というところもあります。「ロータリーを楽しんで仲間を増やす」その実現のためには会員増強、まさにその通りです。14.5人これは10,000人あたりのロータリアンの数です。2500地区(北海道)は10,000人あたりのロータリアンの数が14.5人、2580地区沖縄、10,000人あたり2.7人、2580地区東京3.68人、北海道は14.5人、平均値が7.03人、北海道に行くと平均の倍はロータリアンがいる。うちの地区は3.68人、平均の半分、でも東京だから他の地区と違うんだよ、それはしょうがないだろうと思うかもしれませんが。まずはこういうことを知っておく、2580地区は34地区中、最下位。これは私がガバナーになってからもノミニー・エレクトとずっと研修を受けるんですが研修の度に言われるんです。お前の地区は最下位と、それで何が何でも会員増強をテーマにしております。2580地区は3.68人、隣の地区2750地区は7.34人うちの倍いるんですよ、同じ東京で北と南でこんなに違う、東京だから人が集まらないのが当然だということにはならないです。もともと隣の地区は一緒だったんです、それを半分に分けたんです、それがいつの間にか倍になっちゃったんです。2590地区(横浜)3.95人、2500地区、北海道15.08人、全国平均が7.03人です。会員増強は、むやみに入会してもらうのではなく、自分たちのクラブの強み、弱み現状を把握することが大事です。実は会員データが整備されていればロータリーのウェブサイトから即座に現場が見えます。全体の状況などを出すことも可能です。更に個人個人がmyロータリーに登録すればコロナ流行があっても、会長エレクトが研修をインターネットで学ぶことも可能です。スマホからでもできますので、是非例会をこの登録に1、2回位使っただけければと思います。是非よろしく願いいたします。「500」という数字を出しましたが、この数字は何かといいますと、先ほど34番目の地区が33番目になるにはどうしたら良いか、なんと500人増強しなければいけない。そう簡単に最下位から脱出できない、500人増強にご協力をお願いしたい。正直言って1年間に500人の増強は難しいと思いますんで、今ガバナーエレクト、ガバナーノミニーにも御協力いただいて5年間の目標にしようよという事しております。5年間、中長期計画500人目標、それでは各クラブ今いる人数の、会員の20%をやっただけだと思えます。公共イメージの向上、公共イメージの委員会とは青少年国際、社会奉仕、私たち2580地区はこれを奉仕プロジェクトチームと呼んでますが、RIではそれに職業奉仕委員会を加え4つを奉仕プロジェクトチームと呼んでます。そ

のプロジェクトチームと、公共イメージ向上委員会というのは同格なんです。それくらい公共イメージにRIは力を入れております。ぜひ公共イメージ向上を目指していただきたいと思えます。ロータリーのシンボルマークが変わりましたので、地区大会までにロータリーの旗を変えて頂ければ嬉しいかなと思えます。ロータリーのテーマカラーはブルーになります、ロータリゴールドと言ってますけど、このゴールド、淡いブルー濃いブルーがあります、これがテーマカラーです。週報等ものを作る時、このロータリーカラーを意識して作ってくるとロータリーらしくなって世界共通の色になります。シンボルマークのルール、使用カラーのルール、文字のルール、ブランドリソースセンターに入ってもらいますと活用の仕方がわかりますので、ぜひご利用ください。「ロータリーを楽しんで仲間を増やす」。その実現のためには公共イメージの向上、マスメディアにいろいろ載っけてもらう、なかなか新聞とかテレビとかはロータリーを扱ってもらえませんが、せめてSNS、FacebookとかTwitter、Instagramなどであげるようにしてください。このことを各クラブ委員にお願いしています。そしてロータリーデー開催もお願いしています。各会で既に地域のお祭りや行事に参加していると思えますが、バザーなどには多くの市民が訪れております。バザーなどをロータリーデーとして開催してもらうことも1つの手だと考えております。今年は分区単位でロータリーデーをお願いしたいというふうにガバナー補佐にお願いしております。各クラブへのお願いですが、会員データの整備とmyロータリーの登録推進、これは既にさせていただいていると思えます。5月中に登録と書いてありますが、9月までには登録100%を、お願いしたいというふうに思っております。財団米山の寄付財団一人当たり230ドル(2万5000円)、米山20,000円、計45,000円でございますが、これを例えば年会費と一緒に集めていただくとかということでは是非ご協力をお願いしたいと思っております。地区組織図ですが先ほど申し上げました公共イメージ向上委員会、隣にクラブ委員会運営支援委員会、職業奉仕委員会、奉仕プロジェクトグループの中に社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、青少年奉仕委員会があり、ロータリー財団委員会、日本では米山奨学委員会が、今ロータリーがやっている委員会でございます。ご静聴有り難うございました。

■点鐘：東京臨海東RC 石井敏子会長
東京臨海RC 佐久間裕章会長

(東京臨海RC 佐久間裕章会長)

皆様お疲れ様でした。野生司ガバナー貴重な卓話ありがとうございました。私も一人でも多くの方にロータリーの機会の扉をコジ開けて行こうかなと思えますのでどうぞよろしく願いいたします。

～野生司ガバナー公式訪問 クラブ協議会～



■開会のご挨拶 佐久間裕章会長

皆様お疲れ様です。本日は早くから、またお足元の悪い中、お越しいただきまして誠にありがとうございます。ガバナーはじめ皆様、ありがとうございます。先ほど会議室の方で色々と打ち合わせをさせていただいたんですけども、ものすごく緊張しましてカミカミで、自分が何言ってるかわからない位です。本年度臨海ロータリークラブを間違いなく変革の年にしていきたいと思っておりますので、ぜひ協議会では皆様の思いの丈をぶつけていただき、皆様に御周知いただく場にしていきたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございます。



■ご挨拶 野生司ガバナー

皆さんこんにちは 2020～2021 年度 2580 地区のガバナーに就任いたしました東京小石川ロータリークラブ所属の野生司 義光と申します。よろしくお願いいたします。先週の月曜日からガバナー公式訪問が始まりました。先週は 4 クラブ、今週は月・火・水と 3 クラブと 7 回目のガバナー公式訪問ですけども、ガバナー事務局によりまして PowerPoint を使って公式訪問するガバナーは野生司さんが初めてと言われてまして、確かにそう言われてみれば PowerPoint は使っていないかなと。先週の月曜日から使い始めたんです。これが意外に大変なんです。自分のパソコンとデータを持っていくんですけど、音声を欲張って入れたんです。1 番新しいホルダー・クラーク会長のメッセージを皆さんにお届けしようかなと思ったんですけども、音声がうまく出ないとか、いろんな不都合があったりして、それから私の PowerPoint と会場のプロジェクターと同調しないとか、いつも毎日毎日、ヒヤヒヤ、ドキドキしながら、だから会場に早め早めに行ってやってたんですけど、やっぱし、

きちんと PowerPoint を使えるのが大事だということがよくわかりまして、先に事務局の方へデータを配布してそれで私は行くだけに、という形を昨日から取りましたら、非常にほっとしております。行った会場で PowerPoint がセットされており、大丈夫だとすぐ確認できます。この方式が良いなと思っております。公式訪問が始まったばかりで、不手際がたくさんあるかもしれませんが、どうぞ今日 1 日よろしくお願いいたします。

■本年度会長 佐久間裕章会長

本年度の当クラブの方針と計画をお話しさせていただきます。まず、皆様もご承知の通りウチのターゲットといたしまして「会員増強なくしてクラブ繁栄なし」というふうに掲げさせていただきました。これは私が入会した当時、7 年前になります。クラブ会員がかなり減少していくという現状がございまして、しかしながら入会した当時でしたので、これがスタンダードなのかなというふうに思っておりました。ですが私が運営のほうに携わっていくと会員数がどれだけ大事なものかということに気づかされました。ですので会員増強を私ができる今年 1 年間で、やれることなのかなとずっと思っておりましたので、今年度「会員増強なくしてクラブ繁栄なし」というふうに掲げさせていただきました。私の運営計画の中にも、ありますが 50 名クラブを 20 年ぶりに達成させるということもありまして、皆様のおかげ様をもちまして 8 月 5 日で当クラブが、20 年ぶりの 50 名クラブになることが決まりました。また 9 月にも 10 月にも 1 名ずつの入会候補がいますので最終的には、今のところ 52 名のクラブができるんじゃないかなと思っております。やはりこのコロナ禍でも増強ができていくというのは、皆様の御陰じゃないかなと思っております。先日も入会候補者や、若い会員を集めて経営塾をさせていただいております。そこで参加者みんなが言っていたのは、ロータリークラブに入ってよかった、入れて良かったというふうに、最後お声掛けしていただきました。ほんとに私は 7 年前に入った時、藁にも縋る思いで当クラブに入り、今は時間もできてお金の方も、少し余裕ができて、こうやって社会奉仕活動に時間を費やすことが出来るのも、この臨海ロータリークラブの会員の皆様がいるから、今、ここに私がいるんじゃないかなというふうに思います。ですので 1 年間、入会者が増えると思っておりますので、古い会員の皆様、是非、ご指導の程、よろしくお願いいたします。また本年度の社会奉仕活動といたしましては、昨年やらせていただいております、臨海西ロータリークラブ・臨海東ロータリークラブ、我々臨海ロータリークラブ、3 クラブ協賛で行うパラポールフェスティバル、次に 10 月 25 日に江戸川花火大会の次の日に行う、江戸リバークリーンフェスタ、そしてオレンジボールの開催。こちらの方をメインに本年度も運営させていただきます。らいおんは一との方の支援も、本年度も引き続きやらせていただきたいと思います。

ます。本当に今年度に関しては会員増強を1年間、今後も、できれば55名体制に持って行きたいというふうに思っておりますので、是非皆様、特に新会員ピックアップ増強チームのメンバーの皆様におかれましては、新しい方がいましたら、是非ご紹介いただきまして我々東京臨海ロータリークラブの会員にさせていただきたいというふうに思いますので、是非是非、皆様よろしくご願ひいたします。以上となります1年間どうぞよろしくご願ひいたします



■クラブ奉仕委員長 佐藤大輔委員長

クラブ奉仕委員会としての方針計画等は記載の通りですが、先ほど佐久間会長からお話があった通り、50名を超えるクラブとして成長していく中、新しい会員が大勢増える、しかも年齢的にも若い会員も多いですから、そこで入ってきた、入ってくれた新会員たちがクラブに定着してくれる、ロータリーに入ってよかったな、楽しいなと思ってもらえる、またロータリアンとして成長してもらおう、ロータリーというものをしっかり学んでもらう、クラブとしても、もちろんです。ロータリーというものの、本質的な楽しさをしっかり教えていかなければと思っておりますので、クラブ奉仕委員会にて、ここが1番肝になると思っておりますので、まずは新しく入った会員たちにクラブで充実したロータリーライフを送れるようにということを中心に、いろいろなことを進めていきたいと思っております。その一環で親睦活動委員会、今日、委員長が事情により欠席であります親睦活動も、その方針の下で、ただ例会に出るだけではどうしてもコミュニケーションが、そこまで取れないですし、仲良くも慣れないので、やはりこの親睦とても大事なことになってくるかと思っております。昨年度の鈴木クラブ奉仕委員長の下に組織の編成が若干変わりました、二次会構成ゴルフ幹事の担当の方もできまして、ある意味、二次会の大切さ、二次会が無いとどうしても、なかなか腹割って話というのも、そうそうできないですし、どっかで何か壁を作るんじゃないかなというのもありますので、やはりそういった二次会の場もうやむやにするのではなく大切に、親睦を図りコミュニケーションをとって、本当に心から仲間と言ひ合える仲間づくりが良いなと思っておりますので、クラブ奉仕委員会そういった形でやってきますので1年間よろしくご願ひいたします。

■会場監督委員会 勝間田健一委員長

基本的には記載の通りです。「明るく・楽しく・為になる」を常に心がけて運営をしていきたいと考えています。また毎年新しい役職をいただけていて、せっかく任せられていますので、最低1つは新たなルールや仕組みを作り、会員が楽しめ、クラブ運営上、迷ったり困ったりしないよう明確にしていきたいと

考えております。今年度は新たなルールとして、活動計画の3番目プロジェクター担当を設け、年間を通じて担当を固定させていただきます。1年間皆様ご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

■プログラム構成委員会 篠塚慎之介委員長

プログラム構成委員会としては、私を含めた柴田会員、田中会員3名で担当させていただいております。分担しながら会場、例会の運営を記録、IT機器に不備がないようメンテナンスをしていき、当クラブのホームページの保守管理を担当しております。先日のフォーラムの中でも、ご意見をいただいたので活動計画上に無いところで申し上げますと、イニシエーションスピーチというところで、当クラブでは新入会員が多いので新入会員の方のイニシエーションスピーチ自体が増えると思いますが、それ以外の卓話で今まで長くいたメンバーと、それから新しく入ったメンバー、既存のメンバーの方の、イニシエーションスピーチ、今どうしているんだというような活動報告、シェアを卓話の中でしていくというアイデアをいただきましたので、そういったことも取り入れながら例会を進めていけるようにと思っております。公共イメージの向上についてなんですけども、こちらに関しましては、今実際、ホームページで常にクラブの情報というのは閲覧できるようにはなっておりますが、今後、時代の流れとともにSNSとか、他の媒体による我々クラブの発信をしていきつつ、後は奉仕活動というところで申し上げますと、先ほど会長がおっしゃってました通り、我々3つの大きな社会奉仕活動をやっておるんですが、特徴としては会員それぞれが実際に活動をして、奉仕をしているというところが、特徴があると思っております。公共イメージ向上については、会員我々自ら行動することでイメージアップにつなげていければと思っております。最後になりますが、Myロータリーの登録状況についてなんですけども、現在、当クラブでは約7割の会員の方が登録をしておりますが、特に新入会員の方が非常に多いのでそういった方が、これから登録をするということになっております。登録をするメリットというかMyロータリーの活用なんですけど、今Web上なので、すごく早い情報を皆が受け取れることができるということで、非常に活用できるじゃないかと思っております。未登録の方に関しましては、私の方からご案内させて頂くことになると思いますが、よろしくご願ひいたします。

■職業奉仕委員会 酒井教吉委員長

いろんな奉仕があって新しい方には分かりづらいと思いますが、ロータリーには目的が4つあって、それぞれ奉仕になって、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕。そのうちの職業奉仕というのはどういうことかと言うと、私自身いろいろ勉強させてもらったんですけど、私から見たら究極の「For You」じゃないかなという気がしています。「職業上

の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」と書いてあります。昨年、前奉仕委員長がフォーラムの中でCSRという話をされた時があります。CSRをやるために職業を高めているという事、そうだと思うんです。そのために何ができるかという事なんですけど、人のために自分を良くするとか、金を儲けるとかというふうに思った方、宗教上の話もあるかと思いますが、いいことしてるなとか思えるし、モチベーションが、その方が起こるんじゃないかと思いません。そのために今回はCSRという話をするよりも、もっと自分たちの職業を磨いていこうよ、という事を職業奉仕委員会として取り組みたいと、おそらく新しい方、ロータリーに参加する目的の大きな理由というのは、自分の会社を良くしていこうと、経営者が集まっているいろんな話を聞いて、それを参考にして取り組んでいこうよ、私もコロナ禍の中で旅行業界って最悪なんです。今はずっと4、5、6月、7月4カ月間売り上げゼロです。そんな中でどうしていくかというのは、いろんな話、私、人の話聞かないんですけど、人の話を今回は聞きました。すごく参考になって、いろんな取り組みをしてやってきたと思います。そういうことが非常に役に立つんで皆さんがロータリーに参加されて職業奉仕という奉仕の中で、自分たちの職業を高めていく材料としてやらせていただければと思いますので、いろんな事を計画の中に上げております。職場への訪問、経営勉強会の設営、家庭集会等において昨年やった4つのテストの話ですとか、こういうものとか職業奉仕フォーラムの中で具体的に実態があるので、こういう話ができればいいなと思っております。皆さん一緒にやっていけるようよろしくお願いいたします。



■社会奉仕委員会 村社研太郎委員長

今年度の活動方針につきましては、佐久間年度より、繰越金、一般財務の全額を社会奉仕活動に寄贈していただくことになりましたので、従来の活動を越えた、新事業に取り組んでいきたいと思っております。ロータリアンとして社会奉仕は凄く大切なものだと思っていて、金銭的に今まで協賛する形も多かったのですが、当クラブは、若手の年齢層が多いということで、現場に行き、現地を見て、体を使い、現実的な社会奉仕活動ということで、今年度は取り組みたいと思っております。それで、地域の声に根付くロータリーということでやっていきたいと思っております。活動計画としては、今まで引き続きやっていますが、江戸川区民まつり、わんぱく相撲、江戸川区花火大会の協賛、これからも引き続き行って参ります。わんぱく相撲に関しましては、今年度はコロナのため中止ということに決まりましたので、協賛金を、そのまま協賛させていただき、来年度に繰越しという形を取

らせていただきました。2つ目は、東京臨海RC旗杯争奪、第12回江戸川区学童オレンジボール大会の協賛支援ということですが、これは何かと言いますと、江戸川区の少年野球チームの3年生以下にオレンジボールという大会がありますが、3年生以下の野球人口が減っているため、3年生以下のところに大会を作って協賛しようということで、3年前よりやっております。そして、私のような少年野球に携わっている者としては、凄く喜ばれて、3年生以下にメダルが貰えたりするといった事をやっております。3年生以下は、なかなか試合や大会をする機会がないので、こういう機会を作ってあげることは、凄く大切なことだと思いますし、数多くの方たちから喜ばれておりますので、引き続きやっていきたいと思っております。開会式、閉会式には基本的に皆様に参加していただいております、今年度も宜しくお願ひします。続きまして、NPO法人らいおんは一とへの協賛支援活動。らいおんは一とというものは、元々は子供食堂から始まったのですが、今では、不登校の子供たちへの学習支援活動を行なっています。そして、現地で子供達と移動例会をして、一緒に食事したり、子供達に作ってもらったものを食べたりとか、子供たちと触れ合ったりとか、コロナの状況を見合いながらですが行っている支援活動です。これも、引き続き今年度も例会訪問をさせていただいて、やっていきたいと思っております。続きまして、昨年度より臨海3クラブでパラボールフェスティバルへの協賛支援でございます。パラボールというのは、障害者の人たちに、江戸川区球場(昨年)で、障害者と健常者が一緒にやطيعける形を作っていく非常に新しい形の支援事業で、これも去年よりやっております。今年度も3クラブの下でやっていきたいと思っております。続きまして、今年度、新しく取り入れた江戸リパークリーンフェスタへの活動支援でございます。これは、今年度は、まだ延期になっていますが、江戸川区の花火大会の後に河川敷の清掃を皆さんで協力して、普段からやっておりますが、ロータリーとして協賛して支援して、自分たちも清掃活動に参加するという形を考えております。今年度の社会奉仕活動につきましては、参加型の支援にしていきたいと思っておりますので、今年1年間宜しくお願ひ致します。

■国際奉仕委員会 小松啓祐委員長

まず活動方針に関しましては記載の通りでございます。目的は国際理解親善平和を推進すること、ここをポイントに今年度は国際奉仕を運営できればと思っております。具体的な活動としては、国際交流が主要なものとして2つ、1つの勉強会を情報共有の場を予定しております。国際交流に関しては2月のバギオ訪問、そして6月の国際大会、この2つが主要な交流になってくるかなと思っております。活動計画にも記載しているんですが、先程も、お話しがあった通り新しい会員でしたり、私含め若い会員が非常に多いクラブでございますので、まずは行ってみると、

国際大会やバギオに行ってみるということ、皆様のお力添えをいただきながら実践していきたいと思っております。そしてもう一つの勉強会は、国際フォーラムと言う形で来年3月に予定しております。そこでは私含めなんです、まだまだ国際奉仕の知識、知恵というかそういったものが不足している部分がございますので、先輩方のお力添えをいただきながらチームとして取り組んでいきたいと思っております。あと活動計画の2番に記載させていただいてるんですが、国際奉仕についてもいろんなことがありまして、姉妹クラブ、バギオ基金、ロータリー財団、米山奨学、大きく4つあるんですが、先程から何度も申し上げて恐縮なんです、若いメンバーが多いので、そもそも米山奨学ってなんだろう、姉妹クラブとはどんなものかという所の勉強会とか、その仕組みというのをチームとして共有していきたいというのが目的としてございます。個人的な感想なので恐縮ですが、昨年私は国際奉仕初親睦というところでクラブとして海外渡航させていただいたんですが、国際奉仕ができたというのも1つなんです、もう一つ1番自分の中で大きかったのは、クラブ内での親睦が取れたのが個人的に非常に大きかったなと思います。やはりクラブ内でも親睦であったり、親善が取れないと運営自体スムーズにいかない部分があるのではないかなと思いますので、国際理解・親善平和を推進する事が大前提ですが個人的な目的としては、親睦・親善につながり最終的にはクラブの活性化につながるのではないかなと思っておりますので、皆様には2月と6月の予定をブロックしていただいて、全員で参加していければなと思っております。ありがとうございました。

■青少年奉仕委員会 井上晴貴委員長

今年度は青少年について大きなテーマであると考えております。コロナの影響で留学踏まえて、交流含め自粛な感じで来ておりますが、青少年が活動できる場を奪われてしまっているのです。活動する場を失われていると言う事なんです、我々もストレスを感じながら生活しておりますが、青少年たちはもっと将来の不安、学習、友人、家庭、様々な不安を抱えて過ごしていらっしゃると思います。その中で青少年奉仕活動の部分においてインターアクト、ローターアクトの皆様が、今まで活動していた部分において、これから活動自粛に対してウェブで行っていくなど様々な活動が期待される中で、我々が勉強していく立場でもあると思っております。そのストレスや新しい常識など生まれるかもしれませんので、交流を踏まえて声を聞いていきたいと思っております。ここで様々なことを聞いて活動など、私も勉強していきつつ、それをご報告できたらいいと思っております。今年1年間よろしく願いいたします。

■諸団体交流、新会員ピックアップ増強チーム 舛本俊輔副委員長

活動方針と活動計画に関しましては、こちらに記載している通りでございます。本日はそこに加えた点をお話しさせていただきます。このチームは会員増強に特化したチームとして、昨年の当クラブ第26期に初めて発足いたしました。第26期の佐藤正樹会長年度は当初会員数38名でスタートしました。誠に残念ながらこの1年間で3名の会員が退会したものの、前年の増強チームの活動の結果、新たに6名が入会することで年度末には5年ぶりに会員数40名体制というものを築くことができました。本年度はそれを超えるべく、当初50名体制を目標にスタート致しましたけれども、先ほど佐久間会長からお話ございましたが、もう少し細かく私から説明させていただきますと、初例会に2名の入会式を執り行うことができました結果43名でスタートいたしました。それに加えまして来月7名、その翌月1名、さらにその翌月にも1名、合計9名の新入会員が確定しております今年度合わせて11名が加わることで本年度の会員数50名体制と言う目標を早々に超える予定でございます。しかし、それに甘んじることなく本年度も新たに私含め増強チームが編成されましたので、我々は、更なる高みを目指して邁進する所存でございます。大変手前味噌ではございますが、これまでもこれからも破竹の勢いで増強していく、私どもは1つの乗り越えなければいけない大きな壁があるように感じております。先週実施したクラブ奉仕フォーラムで齊藤実パストガバナー補佐からご指導頂きましたけれども、それは何かと言うと数も大事ですけれども、やはり質も大事であるということを考えております。これは当クラブの鈴木会員から理事会ですとか夜の例会ですとか、我々が最も大事にしております二次会ですとか、そういったところを通じて会員数が増える事は素晴らしいことではあると、しかしロータリーの精神が薄まる事のないように既存のロータリアンは新入会員に対してロータリーの何たるかこれを伝えるようにと、御指導を日々頂戴しております。まさにここで東京臨海の進化が問われるポイントではないかというふうを考えております。私、新会員ピックアップ増強チームとして引き続き増強に努めて参りますが、それと同時にクラブ奉仕委員会の副委員長でもございますので新入会員を担当されるカウンセラーの方々ですとか、クラブ研修、あと闇のカウンセラーと言われております出席向上委員の皆様と連携をとりながら増強と同時に、当クラブの質の高いクラブ作り、こちらにも貢献していきたいとこのように考えております。



■齊藤実パスト会長

野生司ガバナーはじめ、ご来賓の皆様、本当に本日はありがとうございました。また最後までお付き合い宜しく願いいたします。私の方からは会長幹事からのたつての希望で、今後のクラブの方針とか予定

を少し述べさせていただければと思っております。今年度佐久間会長のターゲットであります「会員増強なくしてクラブの繁栄なし」はその通りだと思います。クラブの発展なくては地区の発展ありません、今まさに必要な目標であると思っております。高齢で病気になり退会する人もいます。また今回のコロナの影響で会社が厳しくなり退会する人が出てくるのではないかと思います。そんな時にやはり増強をしておかなくてはいけないのではないかなと思っております。今後の当クラブの予定としましては、先程から皆さんおっしゃってる通り 50 名から 55 名の会員数にし、東分区で東京東に次ぐ 2 番目のクラブになりたいと思っております。スポンサークラブとして自立させて新クラブ結成前の衛星クラブを立ち上げる準備をむしろしていきたいと思っております。1 昨年誕生しました臨海西ロータリークラブも順調に成長し 32 名の会員になりました。クラブの親睦と社会奉仕活動に頑張っております。もう一つのクラブであります女性会員の多いクラブの臨海東ロータリークラブは昨年何名か不幸があったりと、ちょっと会員数が減少しましたが、先ほど会長が言いました通り臨海グループとして、協力応援して 3 クラブで 100 名を超える軍団にしたいと思っております。来月 8 月は会員増強・新クラブ結成推進月間でございますので皆様ご協力をよろしくお願いいたします。我々としてはガバナー公式訪問ですので、切にお願いしたい事はあまり必要のない地区委員会の集まり等は労力とお金を使うわけで極力少なくして頂き、クラブ負担をできるだけ軽くして、それを家庭集会ですとか親睦とかそういったものに使えるようにして、頂ければクラブの活性化になるんじゃないかなと思っております。大変生意気なことを言って申し訳ございません。とは言っても当クラブからは 7 名も地区に出向していますのでその辺はあえて意見をさせていただきたいと思っております。あと当クラブは目標としては、先ほど国際委員長からも話が出た通り、創立以来バギオ基金に支援協力しております。まだ 27 年目のクラブとしては、2,400 万円近い資金を支援している。また親睦の国際版と言われるバギオ訪問交流には毎年大勢の人に参加していただいております。また先ほど社会奉仕委員長から話がありましたように当クラブはオレンジボール、障害者のパラボールフェスティバル、子供食堂らいおんは一と等々で表彰もされております。今回、北分区は今年 IM を中止したそうです、コロナの影響もあるかもしれませんが関係者の苦渋の選択かと思っております。変化する勇氣、これは大変高く評価しても良いのではないかと私自身思っております。これから我々もクラブの繁栄になるように地域の公共イメージ向上につながるように会員増強を頑張っておこなってまいりますので、今後とも御指導、御鞭撻よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

■講評 野生司ガバナー



今お話をされた齋藤バスト会長は私と同業でありまして、しかもロータリーに対する造詣が非常に深い方で私が何も言う事は無いですが、齋藤さんがいつもご指導くださっていると思っておりますので、齋藤さんがいる前でしゃべるのは恥ずかしい位な感じなんですけども、ちょっと聞いてください。会長の今年度のテーマ「会員の増強なくしてクラブの繁栄なし」、これはまさに、今年度の地区のテーマと全く一緒です。私が 1 番に言っている事は何が何でも会員増強、2580 地区というのは日本に 34 地区ありますけども、その中で人口あたりのロータリアンの会員数が 1 番低い地区なんです。そういうことを 34 地区の中で集められて研修を、この 2、3 年受けてるんですけども、その度に言われるんです。2580 地区は人数が 1 番少ないと、それをずっと私言われ続けておりましたんで、何が何でも会員増強と言う気持ちですが、そういう意味では会長と全く同じ気持ちです。My ロータリー登録状況のお話があります。ここは 70%とすごいですね。若い会員の方が多からですかね。非常に素晴らしいと思っております。できましたら 100%にもっていつてもらいたいと思っております。これも 2、3 日前に RI の日本の研修リーダーから送られてくるんですけども、お前の 2580 地区はこれぐらいの登録人数だよ、登録しているのは 33%、未登録 66%というデータになっております。各クラブの登録状況が後から送られてきます。これによると東京臨海は 33 人が登録して 76.74%、この時 43 人で 10 人が登録していないと、こういうのが各クラブに送られてきます。ガバナーはずっと RI から言われながらやっているということを察していただきたいです。このクラブすごいですね。寄付額、財団米山、バギオ、今までのぐらいの金額をやっているかと表にまとめてあって、こういのが出ているクラブ、出ないクラブあるんです。やっぱり出ているクラブは寄付が多いです。ですから、これを見ながらたくさんの寄付をしていただきたいと思っております。そして、なんといっても、僕はこの名簿のデザインがすごいなと。すごいきれいなデザインで毎年変わるそうなんですけども、そういうのも、また新しいクラブで出せれば非常にいいなと。どんどん新しいことやってもらいたいと思っておりました。先ほど、お話の中に「新会員ピックアップ増強」と名前がいいですね。どんどんピックアップしてください、これはなかなか他のクラブにはありません。なんといっても成長著しいクラブで非常に気持ちが良い。ガバナーの立場でいいです

と、若い人がどれぐらいいるのかなど。ということで、来年のガバナーの為に出来たら会員の年齢別の表をつけておいていただいて、それで次年度を迎えると、どれぐらいの年齢の人がどれぐらい居るかわかるといいです。もうちょっと言うと、5年未満の会員がどれ位、10年未満、15年、20年と、そういう表があるとガバナーとしては把握しやすい。特に、他のクラブとこちらのクラブは違いますから、そのようにしていただけると嬉しいと思います。ホームページを拝見しましたがまだ直ってないんですね。もう2020年度7月は始まってますので、ぜひホームページの修正をお願いしたいと思います。ホームページは非常にきれいに出来てロータリーのカラーであるブルーを使っていて凄く良いですね。社会奉仕活動いろんなことやってますね。それも感心しました。できましたらその活動ごとにSNS、Facebookとか載せてください。若い人が多いのでできると思います。そうしてくれると、まさに公共イメージの向上にロータリーの宣伝に役立つと思います。オレンジボール小学校3年生以下の野球の少年にターゲットを当てる。なかなか着眼点がいいです。そういうことをどんどんやってらっしゃるし、子供食堂のらいおんは一とというような学習、勉強を見てあげると。非常に素晴らしいと思います。あとファイルを拝見しておりましたら、出席不良者には連絡をする。発表にはなかったんですが、実際にやってるんですか？やるのが若いパワーで違いますね。1つだけ残念に思うのは、今日ここでずっと見て女性会員、うちの地区幹事ですけども、このクラブに女性は居ないんですね。女性いるといいですよ。ぜひ女性会員を入れるようピックアップ増強チームの皆さんよろしくお願ひしたいと思います。

■閉会のご挨拶 佐藤大輔副会長



野生司ガバナーはじめ、ご来賓の皆様、本日はありがとうございました。お陰様を持ちまして大変活気ある、そして、意義あるクラブ協議会を開催することができたと思っております。これで佐久間年度1年間皆さん一致団結してそして充実したロータリーライフを送っていけるよう頑張っていければと思います。よろしくお願ひいたします。